

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実	施策の目的	自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する	施策	自然環境保全・環境共生
-------	---------	-------	-----------------------	----	-------------

主要事業と関連部署

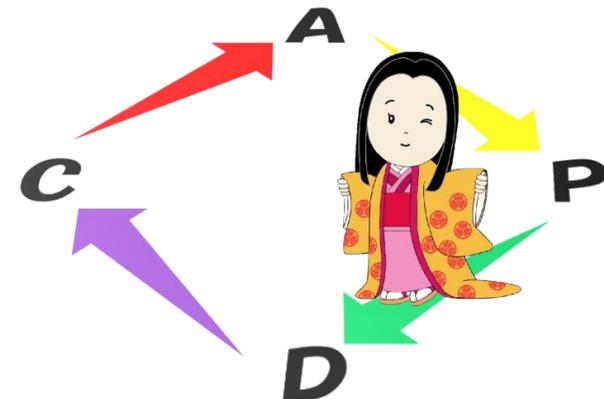
施策の方向	事業名	部署名
自然の保全と管理	事業所の活動支援	商工観光課
水辺の保全と活用	桜つつみの維持管理	道路課
身近なみどりの保全と活用		
環境との共生に向けた取り組み	地球温暖化対策事業	生活環境課

目標

指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
自然環境の保全に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	28.1%	33.1%
省エネ・地球温暖化防止に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	10.0%	15.1%

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見
自然環境保全は行政と企業が一体となって取り組むべき課題である。あわせて、各家庭への啓発活動も推進していただきたい。
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 目標の達成状況 ♡♡♡ </div>



事業の説明

事業名	事業所の活動支援			
担当	商工観光課			
予算科目	一般会計			
	7款	1項	2目	3事業
事業の目的	市内に事業所、工場等を有する企業が連携して活動するために組織した団体に対し、奨励金を交付し、地域の商工業の活性化を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する
施策	自然環境保全・環境共生
施策の方向	自然の保全と管理

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	400千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		8回
実施内容と改善点		
活動経費（環境美化活動、環境保全に関する取り組み、交通安全運動、災害救助、防犯灯の維持管理、社会貢献活動等）として1団体に10万円を交付。		

令和2年度	決算額	400千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		4回
当初の成果目標		1回
実施内容と改善点		
活動経費（環境美化活動、環境保全に関する取り組み、交通安全運動、災害救助、防犯灯の維持管理、社会貢献活動等）として団体ごとに10万円を交付。		

令和元年度	決算額	400千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		4回
当初の成果目標		1回

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	各団体が用途目的に沿って、奨励金を活用した。
分析	奨励金を交付することにより地域の商工業活性化の推進に寄与していると考ええる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回

事業の説明

事業名	桜つつみの維持管理			
担当	道路課			
予算科目	一般会計			
	8款	3項	1目	1事業
事業の目的	河川等の景観を良くするために作られた桜つつみを適切に管理し、その美しい景観を維持する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する
施策	自然環境保全・環境共生
施策の方向	水辺の保全と活用

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1,900千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
小貝川右岸桜つつみ除草を年3回契約。うち1回は実施済。 八間堀桜つつみ植栽管理については、薬剤散布を年2回契約。単価が上がったことで予算を超えてしまい、除草については他の予算項目より支出している。		

令和2年度	決算額	1,900千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
小貝川右岸桜つつみ除草を年3回実施。 八間堀桜つつみ植栽管理については、除草及び薬剤散布を年2回実施。		

令和元年度	決算額	1,718千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		93.5 %
当初の成果目標		100.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	小貝川右岸については、国土交通省の除草請負業者と随意契約することでスムーズな除草が実施できた。
分析	除草等の単価が上がったことで、予算内で行える項目が限られてきている。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	地球温暖化対策事業			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	4款	1項	7目	2事業
事業の目的	地球温暖化対策として、市施設から排出する温室効果ガスの削減を図るとともに、ゼロカーボンシティ宣言市として相応しい計画を策定する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する
施策	自然環境保全・環境共生
施策の方向	環境との共生に向けた取り組み

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	778千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		95.0 %
実施内容と改善点		
前年度からの継続事業となるが、じょうそうエコオフィスプランにおける削減目標の達成年度となるため、全庁的に温暖化防止意識の向上を図る。また、ゼロカーボン施策を既存計画へ盛り込むための年次計画を策定する。		

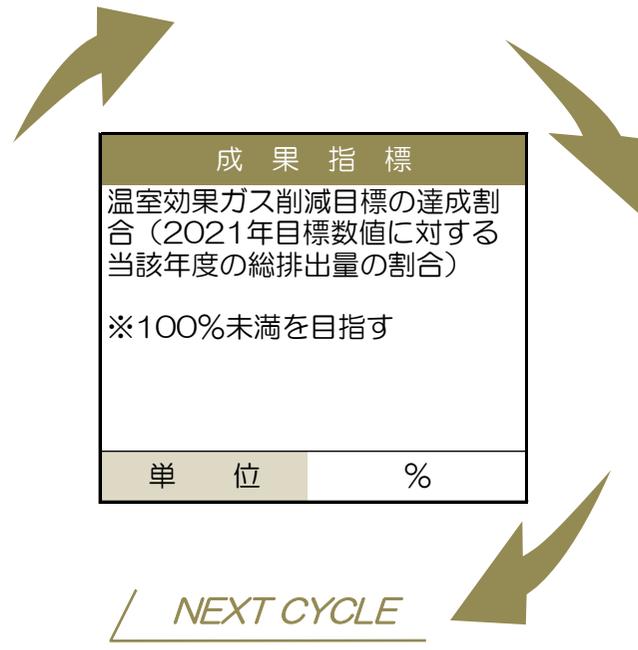
【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	目標値を大きく達成したため、令和3年度末の目標達成に向けて、継続的な啓発活動を実施していきたい。
分析	ここ数年横ばいであったが、令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点で多くの公共施設の一次閉鎖や、出張時に活用する公用車の利用が大きく減少したため、経過数値として適正ではない可能性が高いと思われる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	830千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		78.7 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
市民団体に補助金を支出し、森林の保全に努めた。市施設から排出される下記温室効果ガスの総排出量を合計し、基準年度と比較した。 ▼対象となる温室効果ガス ①二酸化炭素②メタン③亜酸化窒素④ハイドロフルオロカーボン		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

NEXT CYCLE